

3月・4月の管理ポイント



株式会社 トモグリーンケミカル

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第92号

今年は、昨年とは打って変わって2月は厳寒でしたので、芝生の立ち上がりの遅れが心配されます。施肥や更新のタイミングなど注意が必要となりますが、頑張っって良い芝生を作っていきます!!



プライマーセレクト

春先の灌漑管理が重要です...

春の水管理が芝生の根をしっかり伸ばすポイントです!!

グリーンの表層を少し乾燥気味にして、根に軽いストレスを与え下層にある水分まで伸ばさせます。

プライマーセレクトによりマトリックスフローを形成した土壌では、表層を乾燥状態にしても、一度の灌水で均一に水が浸透しますから安心して灌漑管理をして頂けます。

散水のポイントとしては、毎日軽く散水を行なう場合よりも(根域にストレスがかからない)、回数を減らして一度に十分な散水を行なった方が(根域に軽いストレスがかかる)、根域が深くなる。

使用量：1~2ml/m² 散布水量：200ml~1L/m² 散布回数：1ヶ月~1ヶ月半に1回



サッチ・リムーバー

サッチ層の除去には...

3月、4月の更新作業時に処理することにより、グリーンのサッチ層を軽減しましょう。

他の微生物由来のサッチ分解剤とは異なり、酵素を主体としているので土壌中でも安定して働きます。

そして農薬類の混用や近接散布が可能。

使用量：1~2g/m² 0.5L/m²散布 使用回数：月1~2回



みみんず水和剤

ミミズの糞塚防止には...

3月、4月は、ミミズが活発に動き回り糞塚が多くなる時期です。

ミミズは薬剤耐性というより、「なれ」が発生して、同じ薬剤を使い続けると効果に鈍感になります。

ローテーションの1剤として是非決め手には「みみんず水和剤」をご使用下さい。

使用する時は、降雨後や朝か夕方方の散布がお奨めです。

使用量：1000倍 2L/m²



グリーンメカ、メカプラス

芝生の貯蔵養分を補うために...

3月、4月は、休眠明けの植物が生長する時期です。

特に3月上旬の萌芽期は、一斉に芽出しさせることが重要です(生育のバラツキをなくす)。

休眠前に貯蔵しただけでは不足しがちな糖類、ミネラルをグリーンメカ、メカプラスを処理することによって、補っていきましょう。

使用量：5~10ml/m² 1L/m²以上



カラーマーカー・L

除草剤散布のマーキングには...

(カラーマーカーは当社の®です)

春の除草剤散布の際、散布箇所のカラーマーカー《カラーマーカー・L》にご使用下さい。

食用色素を主成分とした、環境にも配慮された商品ですので、安心してご使用いただけます。

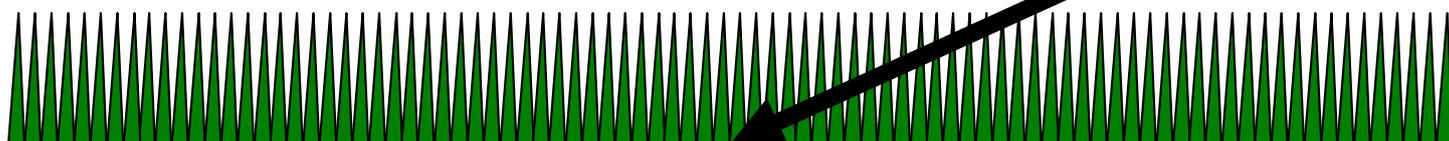
従来の粉末タイプからリキッドタイプにすることにより濃淡(倍率)調整が容易になり、価格も安くなりました。

使用量：3000~5000倍(倍率は芝生や主剤の色あいにより自由に調節してください)

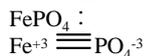
土壌中のリン酸の動きについて

肥料の三大成分の一つであるリンは、芝生の生育にとって非常に重要な働きをします。しかし、すぐに土壌中で他の物質と結合してしまい、なかなか吸収できません。今回は、リン酸の土壌中の動きについて紹介していきましょう。

リン酸肥料



リン酸第2鉄



鉄とリン酸がお互い3本ずつ結合しているため、非常に強力。この状態では、芝生に非有効。

還元状態になると
酸化状態になると

酸化鉄と結合した場合

亜酸化鉄と結合した場合

有機リン

有機リンとなって不活化し、利用されない。しかし微生物の体内を循環した場合は芝生に有効。

腐植と結合した場合



アルミニウムと結合した場合

リン酸アルミニウム

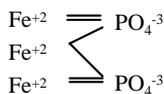
リン酸とアルミニウムがお互い3本ずつ結合しているため、非常に強力。芝生に非有効。



カルシウムと結合した場合

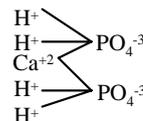
リン酸第1鉄

$\text{Fe}_3(\text{PO}_4)_2$:
リン酸第2鉄に比べると結合はゆるいので、比較的芝生には有効。



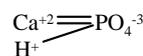
第1リン酸カルシウム

カルシウムとの結合は弱いので(1本結合)芝生に有効に利用される。



第2リン酸カルシウム

カルシウムとの結合はやや強いが(2本結合)、芝生に利用される。



第3リン酸カルシウム

カルシウムとの結合は非常に強いので(3本結合)、芝生に利用されない。

